

第2回与那原町総合計画策定住民会議 教育文化部会

日 時：平成30年4月26日（木）

場 所：与那原町社会福祉センター大ホール2階

参加者数：

基本方針・・・3案

- ① 子供も大人も町も輝く文化のまち
- ② 子供も大人もみんながつな（綱）がる元気なまち
- ③ いちゃりばちょうでえの平和の心が息づく町

A 文化・教育

1. 文化財の活用。
2. 文化財等の近くに駐車場が無い。
3. 文化財の保全が不十分。
4. 町の歴史、文化を大切にし、認識を深める。
5. 文化教育の向上。
6. 町の伝統文化（行事）の継承。（乳幼児期より）
7. 「兄弟小節」を町の代表的なエイサーとして和の心をアピールする。
8. 歌碑「兄弟小節」の「いちゃりば兄弟」の平和の心を学ぶ。
9. くとうばやじんじけー、誠そうけーからなんくるないさ、むしるのあやぬぐとうまっと一ぱ歩ちゃん。

B 各種施設

1. 野球場、テニスは場はあるが、一定規模の陸上競技場がない。（サッカー場等）
2. 東浜水路の活用にカヌーを使用してみてもは。（今回の、鯉のぼりはとてもいいと思う。）
3. MICEを踏まえ、さまざまな国の文化の紹介・言語の習得。
4. 図書館をもっと充実させたいと思う。
5. マリーナの活用（。長崎の帆船まつりなど。デートスポットになる。）
6. 与那原小学校の運動場がせまい、駐車場が少ない。
7. 全天候型の屋内運動場がない
8. 絵本が傍にある「絵本の館」。（子供たちの遊びの場）
9. マリーナの活用が限定的。一部の利用者のみが利用。
10. 交通安全確保。与東幼、小の登下校（海側）。
11. 子供たちの遊具が少ない。公園で遊べなくなっている。

C 地域交流

1. 地域と子供の交流。
2. 待機児童の解消。
3. 地域行事への（若者の）参加が少ない。
4. 子供の居場所作り。
5. 若者たちが住みやすい、家賃の補助。
6. 地域とのかかわり。
7. 青年会が少ない。

D 教育

1. 学校・親・行政間の情報交換。
2. 不登校。
3. 人材の活用（専門的、地域）
4. 幼児教育の大切さ。
5. 保、幼、小、中の連携。
6. 島くとうば忘じね一国失うん 島くとうばを大切に。
7. 保育の質を上げる。
8. 生活リズムを整える。（早寝、早起き、朝ごはん、朝トイレ）
9. 島くとうばの教訓を大切に。
10. 保育、教育の質を上げる 町が中心となった研修体制づくり。
11. 保育士、教諭の人材不足解消。（職員確保）
12. 特別支援教育の充実、施設設備の充実。

E 支援体制

1. 大人たち（子供たちと一緒に）の学ぶ場を設ける。
2. 大人たちの価値観を養う。
3. 子供たちへの絵本の読み聞かせを充実させる。子供と父母、地域の人をつなげる。
4. 辛い子供達、苦しんでいる大人たちへの手を。
5. 保護者支援。
6. 県外大会等へ出場している選手、チームへの支援を充実してほしい。
7. 津波、地震 防災の取組強化。
8. 人権教室・いじめ問題・虐待・不登校問題

F 交通安全・環境

1. 防犯カメラの設置。子供の安全な塾帰り。(夜間)
2. 国道 33 号線の街頭樹木の枯れている所の植樹。
3. 親子で受ける交通マナー教育。
4. 交通安全の街頭指導の徹底、飲酒運転の根絶。
5. 緑と花いっぱい運動。
6. 与那原町の匂い、与那原町の花。

G 良い点

1. サッカー場ができればＪリーガーなど呼べる。子供たちに夢を見せることができる。
2. 町外から移住してきた方が地域活動に積極的である。
3. 子供たちのあいさつ。
4. 子供たちの登校時の立哨活動がさかん。
5. 祭りの参加者が増えている
6. 中学校への学習支援は素晴らしいと思う、学力が向上している。
7. 軽便駅舎の文化財産指定を受けた。
8. 一つでも歴史や英語などができるようになると、自信につながる。